

## 要 約

試 験 委 託 者 : 環境省

表 題 : 7-メチル-1,6-オクタジエンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

試 験 番 号 : A020374-3

試 験 方 法 :

- 1) 適用ガイドライン: OECD 化学品テストガイドライン No. 211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)
- 2) 暴露方式: 半止水式(毎日試験液の全量を交換)  
水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供試生物: オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間: 21日間
- 5) 試験濃度: 対照区, 助剤対照区, 0.0700, 0.125, 0.220, 0.390, 0.700 mg/L  
(設定値) 試験液調製可能最高濃度  
(公比: 1.8)  
助剤濃度一定: 100  $\mu$ L/L (ジメチルホルムアミド使用)
- 6) 試験液量: 80 mL/容器
- 7) 連 数: 10容器/試験区
- 8) 供試生物数: 10頭/試験区 (1頭/容器)
- 9) 試験温度: 20 $\pm$ 1 $^{\circ}$ C
- 10) 照 明: 室内光, 16時間明 (800 lux以下) / 8時間暗
- 11) 分 析 法: ガスクロマトグラフィー質量分析 (GC/MS)

試験結果：

1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果、測定値の設定値に対する割合は、調製時において62~108%、換水前において21~52%であった。水中からの50%揮散速度は約7時間であることから、減少の主な原因は、揮散と考えられた。

2) 21日間暴露後の結果

	(mg/L)	95%信頼区間 (mg/L)
親ミジンコの半数致死濃度 (LC50)	> 0.504	算出不可
50%繁殖阻害濃度 (EC50)	> 0.504	算出不可
最大無作用濃度 (NOEC)	0.238	—
最小作用濃度 (LOEC)	0.504	—